初心者の方へ ワンポイントアドバイス

大苗を植え付ける前の下準備

大苗編

植える場所を決めましょう

木は光合成をして育ちますので、太陽の光は欠かせません。

「場所を考える」3条件

① 日当たりのいい場所
② 風通しのいい場所
③ 大きくなっても周りとの調和が出来る場所

風通しの悪い場所は病害虫が発生する危険性が高まります。
隣木との距離が近すぎたり、塀の近くだと大きくなってから困ります。
大きくなったときのことを見越して植え付け場所を決めましょう。

”土作り” が大切です

露地植えであっても鉢植えであっても、
土づくりは苗木にとっては、なくてはならない要素です。

木が良く育つための3条件

① 水はけが良いこと
② 適度な保水力があること
③ 有機質に富んでいること

良い土に変えていく一番の近道は、腐葉土などをすき込むことです。

有機質は分解してコロイドとなり、土壌を団粒化し（小さな固まりにする）、
通気性が確保できます。土は柔らかく、ほこほこしている状態が理想です。
植え付け場所が有機物の少ない赤土であったり、
排水しにくい粘土の場合は穴の土を総入れ替えします。

植え付け準備（土壌改良）

植え付け一週間前までには下準備をすませましょう。

①直径50～60cm、深さ40～50cmの穴を掘りましょう。
　根を窮屈な穴に入れたのでは、良好な生育が望めません。

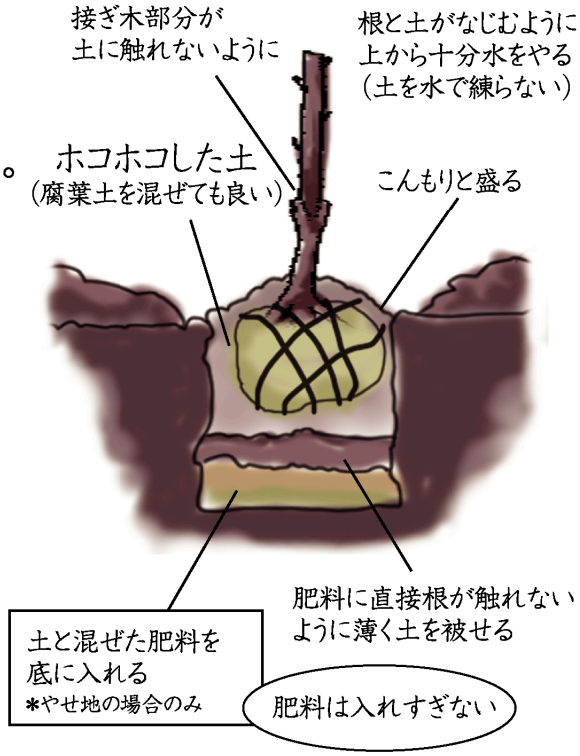
②掘りだした土を状況に合わせて土壌改良しましょう。

⇒粘土など水はけが悪い場合、*がら土の場合
掘り出した土は捨てて、すべて新しい土に入れ替えます。
黒土・真砂土・腐葉土など手に入る土を混ぜて自分で土を
作ってみましょう。少し高めに土を盛るところまで準備しましょう。

⇒やせ地の場合
穴の底に牛フンを土と混ぜて入れ込みます。
くれぐれも入れすぎてはいけません。

⇒土が硬い場合
掘りだした土を柔らかくほぐした上で、腐葉土を混ぜましょう。

⇒畑土の場合
今まで野菜など作物を作っていた場所なら穴を掘り、
掘った土を柔らかくほぐしておくだけでよいです。
肥料は入れない方がよいでしょう。



*「がら土」とは…5cm～10cmくらいの
石やコンクリート片が混じっている土

肥料はいつ何をやればいいのでしょうか？

植え付け時には基本的には肥料はいりません。
※よほどのやせ地の場合は肥料が必要です。

苗木は植え付け、
植え替え直後は根が弱っています。
移植時には今まで伸ばしていた根っこを切断されて
人間で言うと大手術を受けた術後のようなものです。
水を吸う力も一時弱まっています。
そんなときに強い肥料をやりますと、
苗木が枯れてしまうことがあります。
確実に根付くまで肥料は
与えないほうがよいのです。

木を大きく育てたい、
早く木を育てたいという場合は
苗木の根に直接肥料が
接触しないように穴の底の方
に肥料を入れてください。

苗木は新芽が伸びてきて、
新しい葉が展開し、
新枝が伸びてきたら
苗木が根付いた証拠です。
葉の色などの様子を見ながら、
追肥をやってください。

肥料の基本は”寒肥（かんごえ）”と”お礼肥（れいごえ）”

●寒肥え（有機肥料を中心に）

1～2月初旬は1年で最も寒い時期です。この「寒」の期間中に与える元肥えを「寒肥え」と呼んでいます。春の芽出しを助け、その後も生育期間中を通じて肥効を長続きさせることが元肥えの目的です。寒肥えには堆肥や鶏糞、油かす、骨粉といった有機質肥料を利用します。土中に施されたこれらの有機質肥料は、土中バクテリアによって吸収されやすい形に分解され、はじめて効果をあらわします。冬季は分解されるまでの日数がかかるため、この頃与えるとちょうど根が盛んに活動しはじめる3～4月になって効果が出てくるのです。
肥料は株の周囲に浅い溝を掘るか、ところどころに穴を掘って与えます。肥料を吸収するのは根の先端部分ですから、あまり株元近くに与えても効果はありません。また、与える位置は毎年変えるようにしましょう。この作業は根をところどころ切断するので、よい根群を発生させ、枝葉の徒長を防ぐ効果もあります。

●お礼肥え

実や花が咲いた後にはそのお礼として肥料をあげましょう。
春の萌芽から始まって夏の酷暑を乗り越え、花をつけた木に感謝の気持ちでお礼肥を施します。その目的は花をつけ果実を結実させる事で消耗した樹の老化防止と来年の成長のための貯蔵養分の蓄積にあります。
9月の半ば過ぎから施します。窒素分の多い化成肥料を、土壌の表面に散布します。
*腐葉土を肥料と勘違いされている人もいますので注意が必要です。
腐葉土には若干の肥料分はありますが、基本的には土壌改良材として使用してください。
この肥料はにおいがなくゆっくり効き、扱いやすいです→

●お問い合せ先　果樹苗木 大苗専門店　有限会社 隅田農園／京都府亀岡市篠町篠上北裏33

SUDA NOEN SINCE 1884
隅田農園
果樹苗木 大苗専門店